

みずほCustomer Desk Report 2022/01/31号 (As of 2022/01/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.47
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.36	1.1146	128.61	1.3387	0.7035
SYD-NY High	115.68	1.1174	128.84	1.3432	0.7045
SYD-NY Low	115.13	1.1122	128.40	1.3366	0.6968
NY 5:00 PM	115.24	1.1147	128.49	1.3401	0.6996
NY DOW	34,725.47	564.69	日本2年債	-0.0600	0.00bp
NASDAQ	13,770.57	417.79	日本10年債	0.1600	0.00bp
S&P	4,431.85	105.34	米国2年債	1.1703	▲1.69bp
日経平均	26,717.34	547.04	米国5年債	1.6200	▲4.07bp
TOPIX	1,876.89	34.45	米国10年債	1.7775	▲2.46bp
シカゴ日経先物	26,695.00	120.00	独10年債	-0.0495	0.95bp
ロンドンFT	7,466.07	▲88.24	英10年債	1.2415	1.50bp
DAX	15,318.95	▲205.32	豪10年債	1.9510	▲7.70bp
ハンセン指数	23,550.08	▲256.92	USDJPY 1M Vol	6.10	▲0.05%
上海総合	3,361.44	▲32.81	USDJPY 3M Vol	6.31	0.02%
NY金	1,786.60	▲8.40	USDJPY 6M Vol	6.56	0.00%
WTI	86.82	0.21	USDJPY 1M 25RR	-0.66	Yen Call Over
CRB指数	252.847	1.94	EURJPY 3M Vol	7.26	▲0.07%
ドルインデックス	97.27	0.02	EURJPY 6M Vol	7.40	0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月28日	18:00	独 GDP(前期比)・速報	4Q -0.7%	-0.3%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	1月 -8.5	-
	22:30	米 個人所得/個人支出	12月 0.3%/-0.6%	0.5%/-0.6%
	22:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	12月 0.4%/5.8%	0.4%/5.8%
1月29日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	1月 67.2	68.8
1月30日	10:30	中 製造業PMI/非製造業PMI	1月 50.1/51.1	50.0/51.0

【本日の予定】

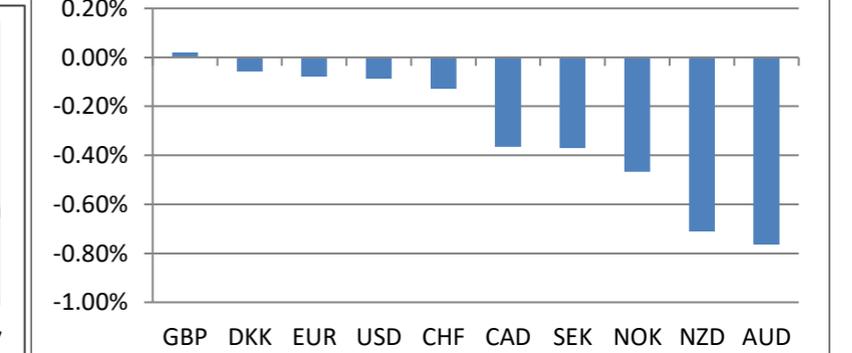
Date	Time	Event	予想	前回
1月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月 -0.6%/2.9%	7%/5.1%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・1次速報	4Q 0.4%/4.6%	2.2%/3.9%
	22:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	1月 -0.2%/4.4%	0.5%/5.3%
2月1日	01:30	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は115.36レベルでオープン。日柄調整のドル買いフローや日経平均の大幅反発の動きを眺めつつドル円は115.51までじり高。買い巡後に115.33まで下げる場面があるもクロス円の堅調推移にもサポートされ底堅く、結局115.40レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.40レベルでオープン。米長期金利を睨み一進一退の値動きとなった。115.63レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではFOMC後からのドル買いが継続したことからドル円は115.68まで上昇し、115.63レベルでNYオープン。朝方は第4四半期雇用コスト指数が予想を下回り、個人所得も予想通りの下落幅であったものの、前回分が下方修正されたことから全体的に予想を下回る結果にドル売りが強まり115.26まで下落する。10時に発表の1月ミシガン大学消費者信頼感指数は予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的となるが、その後は押し目買いに一旦115.45まで戻す。しかし米金利が低下する中、上値を抑えられ115.13まで反落。午後は週末を控え方向感のない推移が続き、115.24レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でドル買いが継続したことから1.1122まで下落し、1.1127レベルでNYオープン。朝方は予想を下回る米経済指標結果を受けドルが売られたことから1.1174まで急伸する。ホワイトハウスが米国と欧州は、欧州がロシアにガスの供給を頼っていることから、ロシア産のガス停止に備えて調達を協力することを発表した。ユーロの反応は限定的。しかしその後戻り売りが持ち込まれ1.1139まで反落した。その後米金利が低下する中、再び1.1169まで戻したが上値は重く、午後はじり安で推移し1.1147レベルでクロスした。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.80-115.70	1.1100-1.1200	128.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円相場は115円台で堅調に推移。日中は本邦株価が大きく反発したことや月末を控えた実需のドル買いにサポートされると115円台半ばまで上昇。欧州時間に入り、主要通貨に対してドルが買われる展開に115.60台まで小幅上昇するも、AUDUSDが0.70台を割り込む中、AUDJPYの売りから上値を押さえられた。米国時間には米金利低下とともにドル円は115.13まで軟化するも、115円台は維持したままクローズとなった。本日は月末となるため、日中は実需フローに振られる展開となりそうだ。午後にかけては円買い需要にドル円の上値が重くなると予想。先週は株価が反発を見せるも116円台に達することはできず、依然として115円台後半からの上値の重さが意識される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。